

# 平成 28 年度 環境産業技術 成果発表会

北海道における環境産業の事業化・市場化等を拡大・促進するため、昨年度、道が支援しました環境産業技術の成果発表会を開催いたします。

エネルギー資源の豊富な本道において、これまで研究されてきた環境産業技術の北海道らしい技術開発等の事業成果を発表いたしますので、是非ご参加下さい。

- 日 時 平成29年1月27日（金）10時00分～12時00分
- 場 所 京王プラザホテル札幌（3階 雅の間）  
札幌市中央区北5条西7丁目
- 発表する事業 平成27年度に道が支援した環境産業技術の中から、7つの事業の成果について発表します。  
(成果を発表する事業の概要は、裏面をご覧ください。)
- 参 集 企業、法人、団体、行政、その他 環境産業に関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。  
参加費 無料
- お申し込み先 裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、1月20日(金)までにFAX又はメールにて下記までお申し込み下さい。
- そ の 他 ご不明な点等につきましては、下記までお問い合わせ下さい。

【主 催】北海道  
【事務局】（一社）北海道商工会議所連合会

【お申込み・お問い合わせ先】  
連絡先：（一社）北海道商工会議所連合会 業務推進部 長野・大塚  
電 話：（011）241-6308  
FAX：（011）231-0726  
E-mail：otsuka@hokkaido.cci.or.jp

## 成果発表を行う 7 つの事業

	研究開発のテーマ	事業の概要	事例発表事業者
1	寒冷地向け電力貯蔵最適仕様を組み込んだハイブリッド型小中規模発電システムの開発	寒冷地で安定的な蓄電・電力供給が可能な小中規模発電システムの実用化に向けた試作実験機による応用研究を実施するとともに、水素貯蔵システムを用いた電力循環システムの最新技術動向を調査研究	サンエス電気通信(株)
2	温泉熱未利用エネルギーを活用した省エネルギー融雪システムの開発	温泉施設の未利用エネルギーを活用して融雪の熱源として使用することで、従来の融雪から大幅に省エネルギー化する融雪マットを試作し、温泉排熱利用融雪システムを開発	パッシブホーム(株)
3	高濃度硫化水素を効率的に除去できる排液非循環型バイオマス脱硫装置の技術開発	新たな湿式脱硫槽、生物脱硫槽、排液供給システム、保温システム及び装置制御システムを構築し、これらを組み合わせることで、高濃度硫化水素を効率的に除去できるバイオガス脱硫装置を開発	北海道オリオン(株)
4	産業用エンジンを転用した低価格・系統連系機能付バイオガス発電装置の開発	バイオプラントの主要機器であるバイオガスエンジン発電装置の低価格化を図るために、既存の産業用エンジンを転用し、系統連系機能も有する小型バイオガスエンジン発電装置を開発	(株)北海道日立
5	雪を克服する追尾式両面太陽光発電システムの開発	太陽光の自動追尾システムと、積雪による反射光を取り込める両面発電パネルを組み合わせ、設備利用率20%を超える太陽光発電システムの開発	雪を克服する追尾式両面太陽光発電システムの開発コンソーシアム【代表者】(株)北海道 PVGS
6	機能性素材プロテオグリカンの原料となる「秋サケ鼻軟骨」採取基地複数拠点化を目指した改良型製造プロセスに係る実証事業	サケ頭部の加工拠点を長万部町以外に、1) 枝幸町、2) 網走市の2か所を加え、複数拠点化した際に、プロテオグリカンの品質及び機能性を満足させるため、改良型製造プロセスに係る実証事業。	(株)リナイス
7	木質チップ乾燥のための雪氷システムにおける空調制御技術の開発	より効率的な雪氷乾燥システムを構築するため、雪氷で除湿された空気と熱だまりの空気の混合比と風量の最適化ならびにチップの乾燥メカニズムを把握するなど空調制御技術を開発	南富良野町森林組合

### 平成 28 年度環境産業技術成果発表会参加申込書

(一社)北海道商工会議所連合会 業務推進部 大塚行き 平成 年 月 日  
 (FAX: 011-231-0726 / E-mail: otsuka@hokkaido.cci.or.jp)

●貴社・団体名 \_\_\_\_\_ ●電 話 \_\_\_\_\_

●申込担当者氏名 \_\_\_\_\_ ●F A X \_\_\_\_\_

●参加者

所	属	役 職	氏 名